

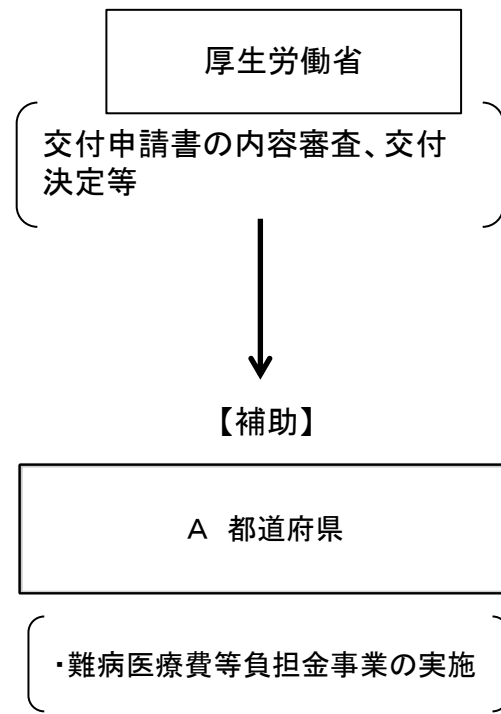
平成26年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	難病医療費等負担金		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	開始年度:平成26年度 終了(予定)年度:終了予定なし		担当課室	疾病対策課		疾病対策課 田原 克志		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の 予防・治療等を充実させること				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	難病の患者に対する医療等に関する法律案 第5条		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	原因が不明であって治療方法が確立されていないいわゆる難病について、治療方法の確立等に資するため、難病患者データの収集を効率的に行い治療研究を推進することに加え、効果的な治療方法が確立されるまでの間、長期の療養による医療費の経済的な負担が大きい患者を支援する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	難病患者の医療費負担を軽減するため、難病の特性を踏まえて、負担割合を3割から2割に軽減し、所得に応じて負担限度額を設定することとし、医療費助成を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	16,784	16,784	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (27年度)	
	受給者数	成果実績		人	-	-	-	-
		目標値		人	-	-	-	1,500,000
		達成度		%	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	医療費助成額	活動実績		百万円	-	-	-	-
		当初見込み		百万円	-	-	-	16,784
単位当たり コスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y			千円/人	-	-	-	11
	X:「医療費助成額」 Y:「受給者数」			計算式	X / Y	-	-	-
平成 26・27 年度 予算 内訳 (単位: 百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	難病医療費等負担金	16,784	16,784	-				
	計	16,784	16,784					

事業所管部局による点検・改善						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	難病医療費の自己負担額を軽減する事業であり、国費を投入する必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国内の難病患者の医療費助成事業であり、国が実施すべき事業である。			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	難病の医療費に対する補助金であり、難病患者の医療費自己負担を軽減するという成果目標達成に向けて、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	所得に応じた自己負担額を設定している。			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	<p>本事業は、「難病の患者に対する医療等に関する法律」(平成26年法律第30号。以下「法」という。)に基づき指定される指定難病患者への医療費助成事業である。</p> <p>一方、左記事業は、法に基づき指定される指定難病以外の難病患者への医療費助成事業であり、適切な役割分担を行っている。</p>		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	141	特定疾患治療研究費補助金	厚生労働省健康局			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成26年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	慢性疲労症候群患者の日常生活困難度調査事業		担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	開始年度：平成26年度 終了(予定)年度：平成26年度		担当課室	疾病対策課	疾病対策課 田原 克志			
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	重症の慢性疲労症候群患者について、厚生労働科学研究班及び患者団体と連携をとりながら、生活・医療・福祉などの実態調査を行うことで、慢性疲労症候群の患者に対する施策の検討に資する資料を収集することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	慢性疲労症候群患者の日常生活困難度調査においては、下記の内容について調査を実施するものとする。 (1)当該疾患に起因するQOL・ADLの低下、日常生活上の支障 (2)当該疾患患者の医学的な所見、発症要因や増悪・寛解因子と経過、合併する疾患等の医療的な調査 (3)患者の福祉支援受給状況とニーズ調査(例えば、障害者総合支援法における福祉サービスの対象かどうか等) (委託先:公募)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
		当初予算	—	—	—	12	0	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—	
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—	—	
		予備費等	—	—	—	—	—	
	計	—	—	—	12	0		
	執行額	—	—	—	—	—		
執行率(%)	—	—	—	—	—			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)	
	調査票の回収率	成果実績	件	—	—	—	—	
		目標値	件	—	—	—	100	
		達成度	%	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	調査実施患者数	活動実績	人	—	—	—	100	
		当初見込み	人	—	—	—	100	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たりコスト	円	—	—	—	120,000
	X:「執行額」 Y:「調査実施患者数」		計算式	X / Y	—	—	—	12,000,000/100
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	衛生関係指導者養成等委託費	12	0	事業の達成状況等を踏まえて、予定通り廃止する。				
計	12	0						

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	慢性疲労症候群患者については、国内に約36万人いるとされており、当該疾患に起因するQOL・ADLの低下、日常生活上の支障があることから、国費を投入して進めるべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	慢性疲労症候群については知見が少なく、発症原因、病態解明等を研究している段階のため、国が主体となって実施する必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	慢性疲労症候群患者については、国内に約36万人いるとされており、当該疾患に起因するQOL・ADLの低下、日常生活上の支障があることから、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先である法人は、慢性疲労症候群に関する知識を有しており、支出先の選定は妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	単位当たりコストの水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は事業目的に即している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	—				
	改善の方向性	—				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の達成状況等を検証し、廃止の妥当性を検討すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	事業の達成状況等を踏まえ、予定通り廃止する。					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	—	平成24年	—	平成25年	—

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
12百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等

【公募・委託】

A. 聖路加国際病院
12百万円

下記の調査を実施

- (1) 当該疾患に起因するQOL・ADLの低下、日常生活上の支障
- (2) 当該疾患患者の医学的な所見、発症要因や増悪・寛解因子と経過、合併する疾患等の医療的な調査
- (3) 患者の福祉支援受給状況とニーズ調査(例えば、障害者総合支援法における福祉サービスの対象かどうか等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					